

皆さんと学び考えるワークショップ「学びやすい学校の環境づくり」【第5回】

参加者意見(概要)

1. 日時・場所

平成 26 年 8 月 2 日(土) 午前 10 時から午後 0 時 尼崎市 女性センタートレピエ3階ホール

2. 参加者

市民の方 26名
(市側)市長、教育長ほか

3. 参加者意見概要

別紙1-(1)~(3)、及び別紙2-(1)~(2)

グループ内で意見交換した際に模造紙に書かれた意見や、意見交換を受けて用紙に書かれたご自身の意見を分類、集約しました。

4. 意見交換項目と主な意見(分類別)

問1 (1)空調設備や、(2)中学校給食を導入することで、子どもや保護者にとって、どういうメリットがあると思いますか、また(3)子どもの生きる力や学力向上のために、必要なことは

	意見交換内容の分類
(1)空調設備	<ul style="list-style-type: none"> ・体調管理(熱中症・アレルギーなど) ・財源確保や収入増加を、投資優先度について(子どもへの投資を) ・集中力アップ、学力向上、空調の使い方 など
(2)中学校給食	<ul style="list-style-type: none"> ・財源確保や収入増加、投資優先度について(給食優先、完全無料) ・弁当提供方法(自校炊飯方式など) ・家庭の事情への配慮(弁当を作れない世帯への配慮を) ・食育・バランス食、アレルギーへの対応 ・持参弁当(愛情弁当)、給食費未払いへの対応 ・自治体間格差の解消、子育て世帯の人口流出の改善、 など
(3)生きる力や学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の業務過多(子どもと触れ合う時間の確保) ・財源の工夫、投資優先度(子育て世帯の転出防止を) ・授業、学力向上 など

問2 今日の議題(皆さんの意見)を踏まえて、学びやすい学校の環境づくりのために何に力を注いでいくべきと思いますか

	個々記載された意見の分類
(1)空調設備について	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力アップ、学力向上 ・体調管理(熱中症・アレルギーなど) ・その他(壁面緑化併用やリース活用による財政負担軽減、空調を先に) など
中学校給食について	<ul style="list-style-type: none"> ・食育・バランス食(心の安定、不登校児も防止できる、給食を先に) ・負担軽減(親の負担など)、中学校弁当事業(当日予約を) ・その他(量の個人差、学力向上にも効果あり、空調・給食とも両方大事でどちらが先かは選べない) など
(2)生きる力や学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上 ・先生の質・人数配置 ・その他(道徳教育の充実、子育て環境への投資優先、安全・安心面の確保、自治体間の差が解消するよう国支援の強化) など

(詳細は別紙1-(1)~別紙2-(2)へ)

「学びやすい学校の環境づくり ワークショップ」での各グループ・参加者意見

(空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上等に関する参加者の意見【全体意見を共有した後】)

【問1-(1)空調設備】

空調を導入することで、子どもや保護者にとって、どういうメリットがあるのか。(課題や解決策も含め)

※実際の意見交換では課題や要望、反論などが多数を占めたことから、下記では、意見概要を分類し、多く意見が交わされた項目順に掲載しています。

意見交換内容の分類 (メリット・課題・要望含む)	No	内容	意見数
体調管理(熱中症・アレルギー等) (62件)	1	体力低下。適応能力。体温調整がしにくくなっている子どもたち。一日中クーラーをつける家とつけない家は違う。	14
	2	昔と今と育っている気温も環境が変わっている。育った違いがあるからこそ、空調が必要では。室内外温度差が5℃以上あれば対策が必要との基準もある。	13
	3	アトピーの子どもは大変。	5
	4	PM2.5対策。喘息の子もいる。	4
	5	子どもは体温が高くさらに暑くなる。うつ熱(熱が溜まる)	3
	6	熱中症対策。	3
	7	水筒を持ってこない子がいる。水道水を飲んでダメと指導され他の子のお茶をもらっている。空調で少し改善されるのでは。	3
		↓対して↑	
	8	体力低下というが、温度湿度の調節でカバーすればよい。大きな温度計湿度計をつけて、子どもたちでも把握できるようにしては。(空調効き過ぎを防ぐ)	7
	9	空調で外で遊ぶ機会が減るのでは。	6
	10	家でクーラー生活なので、暑さに慣れさせることも大切。	4
財源工夫・投資優先度 (34件)	1	扇風機とクーラーの組み合わせ。壁面・屋上緑化、すだれ、芝生も。体感温度を考慮しては。	12
		↓対して↑	
	2	緑化は手入れがネック。	1
	3	リースなどの費用平準化手法も一手。(購入した場合には、更新・リサイクル時に再度高額な予算確保が必要)	8
	4	空調は利用期間が短い。給食は1年間。(だから給食)	5
	5	新しい校舎なのに風通しが悪い。空調を同時に設置しないと効率が悪すぎる	2
	6	電気代や設置費用の平準化を。(企業にスポンサーになってもらう、授業中だけスイッチオン)	2
	7	耐震工事にあわせて空調設置が効率的。	2
	8	空調は行政にお願いするしか手がない。(昼食は別の手段がある)	1
	9	投資額の裏づけは?	1
集中力up・学力向上 (13件)	1	学力向上のために、集中して学べる環境が必要。授業は勉強するための時間だ。	5
	2	暑さで先生は大変。	3
	3	学力向上には空調・給食とも必須。	3
	4	空調は学力向上につながる。集中力UP。	2

空調の使い方 (11件)	1	温度管理をきちんと管理者が考えるべき。設備として準備しておいて、ルールを決めて利用。子どもにさせる手もある。	7
	2	設備は必要だが、使い方も考えねばならない。(バランスよく)	3
	3	設置校でも集中制御式で、教室ごとに差がある。	1
弁当が傷みにくい(2件)	1	弁当も傷みにくなる。食欲もわく。	2
その他(3件)	1	工事の騒音・工期の問題。	3
意見数 総計			125

※意見数は延べ数

「学びやすい学校の環境づくり ワークショップ」での各グループ・参加者意見

(空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上等に関する参加者の意見【全体意見の共有前】)

【問1-(2)中学校給食】

中学校給食を導入することで、子どもや保護者にとって、どういうメリットがあるのか。(課題や解決策も含め)

※実際の意見交換では課題や要望、反論などが多数を占めたことから、下記では、意見概要を分類し、多く意見が交わされた項目順に掲載しています。

意見交換内容の分類 (メリット・課題・要望含む)	No	内容	意見数
財源・投資の優先度 (42件)	1	絶対、給食は先に必要だ。食生活はすべての土台。(空調は調節できる)栄養バランスがいい。朝食べれない子もいる。	10
	2	給食は完全無料に(義務教育なのだから国として)。 不登校の子、給食費が払えずいじめの原因に。	10
	3	給食は1年間、空調は6~9月だけ。(だから給食)	4
	4	親の軽減でなく、命をつなげることの大切さ。食のほうが大事。	3
	5	給食は栄養バランス、食育にとっても必要。(給食当番も)	3
	6	母子家庭に給食費の補助を。	3
	7	給食の悪いところばかりが取り上げられている。	1
	8	財政問題のため給食の後回しはやめて。	1
	9	尼崎で長く住んでもらえるよう、子育て環境を整えて欲しい。	1
		↓対して↑	
	10	全食無料でなく、本当に必要な人だけ対処すべき。(就学奨励補助金を別のものに使われないように)	3
	11	必要と思うが、財源問題もある。(時期や手法などを工夫すべき)	2
12	給食がどうしても必要かを考えるべきでは、子どもの環境を考慮すべき。	1	
給食提供方法 (37件)	1	小学校で作ったものを中学校に運ぶ。(少子化で人数は減る)	15
	2	小学校からの引き続きなので、子どもたちも慣れているのでは。(慣れていないのは先生だけ?)	2
	3	給食はメニューが豊富、小学校給食はおいしい。 (逆に言えば、お金がかかっていると思うが)	1
		↓対して↑	
	4	白ご飯・おにぎりだけ持参させる(おかず・汁物だけ給食)との手もある	7
	5	給食導入後も、弁当の日もあればよい。(私立幼稚園ではそうしていた)。個々の対応を。	5
	6	食材も課題。	2
	7	中学校の敷地に作ることは難しい。	2
	8	部分的に選択できるような給食の形もあるのでは。	1
	9	一律導入でなく、課題を出しながらの導入もありではないか。	1
10	給食の人件費を減らす。	1	
家庭の事情 (25件)	1	作ってくれる家と作れない家の格差。(おにぎりだけ、冷凍食品が多い子もいる)(夕食は何を食べているのか)	7
	2	目に見えない貧困家庭が増え、格差が広がっている。給食が子どもの生活を支えている。	7
	3	家庭がしんどい子を引き上げるためにも給食大事。	5
	4	昼食時に教室を出る子もいる。(昼食を食べていない?)	1

	5	家庭で弁当ができる世帯は経済的にいい世帯なのか。 ↓対して↑	1
	6	弁当を持参できない子の家庭環境やどれくらい存在するのかを調べる、データを示すべき。	4
アレルギー・アトピー等健康面 (20件)	1	小から中に上がってやっとお弁当が作れる喜びがある。(特にアレルギーを抱えるお子様)	7
		↓対して↑	
	2	アレルギーの問題。(小学校で対応しているので、中学校でも対応できるはず)	7
	3	低体温・体力低下は食生活も関係ある。	4
	4	給食の有無で体力差があるかどうかのデータを集めるなど状況を把握してはどうか。	2
負担軽減 (19件)	1	親の負担軽減でなく、子どものために給食実施を。(きちんと朝ごはんを食べてますか?)	8
	2	給食は親の支援か。怠慢ではないか。働いている親でも作れるのではないか。弁当は親・家の努力。	6
	3	先生の負担は増える。	5
持参弁当(愛情弁当) (18件)	1	弁当を作るのはしんどいが、愛情弁当のよさ(コミュニケーション・愛情)もある。食べる量も違う。費用も安い。	7
	2	愛情弁当は必要。自分の子どものことを行政まかせにしているのか。家庭での食育にもつながる。	3
	3	反面、作れない・作らない親がいる。	2
	4	家庭からの弁当を作りたいという人がいて驚いた。	2
	5	家庭からの弁当には偏りがある。	1
	6	自分でお弁当を作りたい人もいる。子どもに作らせながら教えてあげられることがある。	1
	7	持参弁当が愛情がこもっているとは限らないのでは。	1
	8	愛情は弁当だけではない。コミュニケーションだ。	1
給食費未払い (13件)	1	給食費を払わない親の存在。公平な費用負担を徹底すべき。(スマホやいい車に乗っている人もいる)	7
	2	給食費を払わないのは、払えないのではなく、親のモラル・意識の問題では。(菓子パンや朝食抜き)、列々の説明の徹底	4
	3	PTAの滞納費も多額なので、給食費の滞納も多くなるのでは。	2
自治体間格差・人口流出 (10件)	1	全国で84%で実施されているので、尼崎でも実施できるはず。小学校でしているのに、中学校でもできるはず。	3
	2	共働き増加。給食がある市は住みやすい。西宮に引っ越し子育て世帯多い。	3
	3	大阪府であるのに、尼崎市に無いのはびっくり。	2
	4	地域差があるので、どこにレベルを合わせるのか。	2
食事の量(個人差) (9件)	1	男女の量の違い。給食+α持参物で量を調整できるのでは。	7
	2	男女の量の違い。持参弁当がいい。	2
弁当事業 (8件)	1	中学校弁当事業の当日予約を。	4
	2	校長先生は愛情弁当を勧めるだけで、弁当事業を勧めない。だから生徒はコンビニ弁当に走る。	3
	3	注文弁当は必要と思わない。	1

集中力・学力への影響 (6件)	1	給食は学力向上につながる。	5
	2	給食は心の安定につながる。	1
食育・バランス食 (6件)	1	朝食抜き、菓子パン・弁当を持って来れない生徒数を、市教育委が把握してほしい。	3
	2	給食ならばよく食べるのか。	2
	3	空腹では勉強できない。菓子パンのみの中学生は倒れる。	1
腐食・食中毒対策(3件)	1	集団食中毒・食の安全の問題。	3
給食指導・学校生活(2件)	1	生活習慣病予備軍の子が増えている。きちんとした食生活が大切。	2
同じもの・仲間意識(1件)	1	同じものを食べる。(好き嫌いが減る)	1
その他(1件)	1	尼崎オリジナルの知恵を出して取り組んで欲しい。	1
意見 総計			220

※意見数は延べ数

「学びやすい学校の環境づくり ワークショップ」での各グループ・参加者意見

(空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上等に関する参加者の意見【全体意見の共有前】)

【問1-(3)生きる力・学力向上】
 生きる力や学力向上のために、必要なことは？

意見交換内容の分類	No	内容	意見数
先生の業務過多 (15件)	1	先生と子どものふれあいが少ない。雑用に追われているように思う。	15
財源工夫・投資優先度 (8件)	1	子育て世帯の転出を防ぐためにも両方必要。 (尼崎オリジナルの知恵・特色を)	5
	2	空調か給食か、ではなく、もう少しきちんと報道すべき。	2
	3	財源が気になる。	1
自治体間格差・人口流出 (4件)	1	子育てしやすいまちにしてほしい。 (他市への転出されてしまうのはもったいない) (子育て世帯の転出を防ぐ)	4
授業・学力向上 (3件)	1	学習環境をよくしてほしい。	1
	2	空調や給食だけでは学力は向上しない。	1
	3	学力向上クイェト事業での成果は。	1
その他(1件)	1	一番は子どものために。いろいろな意見、すばらしかった。	1
意見 総計			31

※意見数は延べ数

「学びやすい学校の環境づくり ワークショップ」での各グループ・参加者意見

2. 空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上等に関する参加者の意見【全体意見を共有した後】

【問2-(1)】	今日の議題(皆さんの意見)を踏まえ、「学びやすい学校の環境づくり」のため、何に本当に力を注いでいくべきか?(その理由も含め)(1)空調と中学校給食
----------	---

※第4回以降(一般向け・中学生向け)の意見交換では、3回目までに出た多くの論点を情報共有した上で、課題への対応策などについて、視点や考えを深めていくプログラムとするなど少し進め方を変更しました。そのため、優先度に対する回答の記載が無い方が多いことから、その人数は参考値として掲載します。

【一般の方(休日昼開催)参加26名】

- ・空調が優先と答えた方:6名、・中学校給食が優先と答えた方:5名、
- ・同時と答えた方:2名、・(どちらが先か)無記載の方:12名

種別	理由の分類	こう思う・その理由の概要	集計
空調について	集中力up ・学力向上	学習環境を整える。	1
		学力向上のためには、クーラーを付けることも大事。空調を付ける時間や利用方法を考えて(各学校、各クラス)。	1
		そうすれば、外に出ない子も遊ぶようになるのでは。	1
		学力向上の為に、空調、給食両方必要。優先順位を付けることなく進めるべき。子育て世代の定住化を進め、都市の活力を保つためには、人材の育成が必須。	1
		学力向上を言うなら、空調設備が必要ではないか。室温・温度など使い方のルールづくり、休み時間は外で遊ぶなど。	1
	体調管理 (熱中症 ・アレルギー等)	環境を快適にして、学力向上を考える必要がある。個人差によって低体温になり体調管理が出来なくなってしまう。使い方やルールを決めて使用することが大切である。	1
		空調も猛暑の中、学習するには必要だ。経量削減できるやり方を考えて設置してほしい。	1
		温暖化が進むのであれば早急に導入すべき。小さい時からクーラーに慣れている子は大変。先生方の負担が多くならないか。	1
		温度や使うタイミングなど様々な問題はありますが、費用面なども議論は必要だが、PM2.5や喘息児童の事を考えれば必要。授業中だけ使用というのに賛成。	1
		空調は必要だと思う。ただ、体温調節ができにくくなるので、利用のルールを決めて使用するのはどうか。	1
	子どもの快適さ	集中管理方式にして授業中だけスイッチを入れることにより体調管理にも配慮する。	1
		空調も温度や湿度を管理しながら使用していけば良いのではないか。子ども達の低体温化も気になる。温度や湿度を子ども達にも確認させることで生活環境への意識も高まるのでは。	1
	その他	エアコンではなく緑化やミストを導入すれば、費用がおさえられる。	1
		エアコンをリースできないか。	1
		空調も大事だが、本当に今いるのか。	1
エアコン導入にコストがかかるなら、緑化やミストなどを取り入れ扇風機を増やすなどで対応できるのでは。エアコンは各教室で調節できないのであれば、体調を崩す子どもも出てくるのでは。		1	
コストを下げるためのリースの活用との意見もあった。		1	
リースも検討することにより、トータルコスト軽減を図る(他に緑化や扇風機などで対応)		1	
温暖化が進んでいるし、暑すぎて食欲も失せる。新校舎なのに、環境は悪いため、エアコンは必要だ。		1	
環境面だけ考えると必要。エアコンリースで環境改善。(緑やミストなどの方法も)		1	
エアコンが難しいなら扇風機を増やす。		1	
空調がクーラーのみしか使えないと聞き驚いた。		1	
空調を先に付けてほしい。温度設定をちゃんとしてあまり涼しくないように、先生方にもきちんとマニュアルを作ってほしい。	1		
工事の騒音もあるので工期は短い方が良い。(グランドが使えない)	1		
今の暑さに対して命にかかわるので整備が必要。空調使用のルール作りなども必要と思う。	1		
子どものためにも空調・給食とも必要。空調は低コスト、自然に配慮したシステムの導入をしてほしい。	1		
人によって体感温度が違ったり、外で遊ばない子もいるので温度設定も必要。	1		
絶対に必要とは思えない。夏は暑いもの体で覚える。	1		
空調が整った環境で育てている=親がそうさせている。→親教育が大事では?	1		
必要だと思うが、外で遊ぶ時間が減らないようにする、体調管理が出来るようにするなどの、空調のON、OFFをまめにするなどして対応してはどうか。	1		
空調について 集計			26

中学校給食について	食育・バランス食	核家族化の傾向を考えると、最低限の栄養を担保する意味では必要あり。是非進めてほしい。	1
		給食を食べることによって心の安定、それが不登校の子どもを減らせるのではないかと。空調・給食とも必要。給食は食育の観点で専門的に栄養的バランスの取れた内容を準備してほしい。	1
		中学校は義務教育なので子どもが安心して学習できるように栄養バランスの考えられた給食をぜひ、空調より先に導入してほしい。	1
		給食はどちらでも良いと思うが、弁当の日と給食の日があれば、親の負担は減ると思う。	1
	愛情弁当も大切	お弁当は親の愛情・責任であるのでは。親子の温もりが少ない今は、忙しいとか大変だけの親の意見の拝聴でなく、方法論も教えて欲しい。	1
		給食がある都市の親は愛情が無いのか。弁当を愛情論にすべきでない。	1
		給食を一番に実施してほしい。親の愛情弁当には内容に限りがある。	1
	同じもの・仲間意識	親の子への愛情を考えると全面的に給食実施は不要と考える。家庭環境により用意できないこともあるので、主食は家から副食は学校で用意するような形式はできないか。財政面や時間的な負担も減るのではないかと考える。	1
		給食はみんな同じ物を食べて会話を楽しみ、配膳や片付けなど協調性や社会性を身につけることができ、食育に繋がる。	1
		給食はみなで同じ物を食べて会話を楽しみ、配膳や片付けなど協調性や社会性を身につけることができ、食育に繋がる。	1
	中学校弁当事業	給食は今のお弁当で頑張ってもらいたい。先には給食整備もしてほしい。	1
		今の愛情弁当も必要。お弁当持参率を見ると結構持参しており、このまま続ければ良いと思う。小学校給食はレベルが高すぎるので、中学は同じものを導入するのではなく、工夫して導入すべき。	1
		当日でも、お弁当を注文できて、注文しやすい環境を作ってもらいたい。	1
	その他	お弁当に対する思いや、給食設備の多様な方法など様々な考えがあることを知る事ができた。すり合わせることも難しいと思われる意見もある。	1
		お弁当の大切さも分かるが、食が満足に受けられない子が、給食があるから、との理由で引きこもりや非行に走らず学校に行けるというつながりは大切にしておきたい。	1
		クラブ活動等で、給食だけでは不足があるのでは。	1
		給食は学力向上にも繋がる。	1
		給食は必要。お弁当を親の愛情という言葉でくくらないでほしい。小中学校は義務教育なので給食があつて当然。無償で当然だと思う。自校方式完全給食にするべき。	1
		空調か給食かではなく、どちらも早急に。	1
		給食は不要。貧困家庭がお弁当を持たせられない事を聞くと、必要なのかもしれないが、お弁当を作らない親がいる→貧困ではなく親の怠慢→これも親教育が必要。	1
給食も心の安定や学力向上に繋がると思う。本当に救ってあげたい子がいるなら、給食が必要かも。		1	
給食を早く。食は命の問題で、とても大事。		1	
給食実施は行政の責任だと思う。荒れている子もお腹を満たしてくれる給食があれば落ち着いてくれるのでは。		1	
空調か給食かどちらかと言えば給食を先にさせていただきたい。昼食(朝食)も取れない子を救う方が先。		1	
空調も給食もどちらも大事なので選べない。それぞれの学校に合せた方法で進められれば良いのでは。		1	
子どもにとって給食は必要不可欠。子どもが安心して心豊かに学習していける為には給食はなくてはならない物。どれ位の子が朝食抜きかお弁当なしかを数字で表して調べていただきたい。		1	
自分で作ることも大切。親に負担をかけない作り方をも考えるべき。		1	
集団食中毒、食の安全、アレルギー対応などの問題。		1	
小学校の給食室を活用することでコスト削減。		1	
小学校の給食室を使うなど出来ないのか。		1	
早期に実施していただきたい。子ども達の心や身体の安定に繋がる。子ども達の生命に直結するもの。健康問題も改善される。	1		
中学校給食のある西宮市へ引っ越される人が多く、尼崎はこのままでいいのか不安だ。	1		
中学校給食は全国で84%実施されている。尼崎も子育て世代が住みたいと思う街にする為に、給食を実施してほしい。	1		
中学校弁当が前日注文、量が多い少ないなど利用しにくいので、早く給食を導入してほしい。	1		
小学校給食が素晴らしいので中学校でも引き続き継続してほしい。	1		
白ご飯だけ持たせて、おかずだけ給食にしてもらったという意見にも賛成しました。それによってアレルギーの子はどうするかという課題が残る。	1		
費用を公平にという課題が残る。無償は財政の悪化を招くが、払わない人がいるという不公平は避けたい。	1		
毎日、給食ではなく、お弁当の日を作ってはどうか。	1		
義務教育なので無償にして、との意見があった。お弁当を持って来れない作れない方もいたり、お弁当の時間に抜けてしまう子がいる。	1		
中学校給食について 集計			37
総計			63

2. 空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上等に関する参加者の意見【全体意見を共有した後】

【問2-(2)】 今日の議題(皆さんの意見)を踏まえ、「学びやすい学校の環境づくり」のため、何に本当に力を注いでいくべきか?(その理由も含め) (2)生きる力や学力向上など

種別	分類	意見の概要	集計
生きる力・ 学力向上	授業・学力向上	言語力向上事業は一部の学校にしか対応されていないのでは。心を育てる為にも是非全ての学校に図書館司書を置いてほしい。	1
		空調も給食も整えば、学級崩壊も減らせるのでは。言語力向上や放課後学習支援などの取り組まれている施策の充実をお願いしたい。	1
		小中学校、すべての学級を35人学級にしてほしい。	1
		英語教育にも力を入れてほしい。	1
		司書の先生を各学校に配置してほしい。図書室の良い環境作りのためにも。	1
		空調にせよ給食にせよ、担任の負担を増やさない方法を進めるべき。先生は出張や報告書などで大変。	1
	先生の質・人数配置	先生の負担が増えている。	1
		先生の負担が多すぎるように思う。	1
		図書の司書さんの事業は続けてもらいたい。2年は短い。	1
		空調、給食の準備も重要ですが規範意識をもてるようにするための道徳教育が大事だ。道徳教材が十分活用されないのは問題。子どもと母親と関わるボランティアをしているが、子ども達が遊べる施設がないと痛感している。	1
	その他学校に関すること	すべて「市」「学校」に任すのではなく「親が関心」を持つことが重要だ。このような機会を作って生の声を聞いてほしい。	1
		どの学年も科目も子ども達が落ち着いて学習できる環境を作ってほしい。	1
		子どもの体力低下について学校だけでなく地域や社会の大きな問題であると思う。(遊ぶ内容や環境など)	1
		子育てしやすい環境でなければ他市へ引っ越される。家庭のしつけや安心・安全面は重要。防犯ネットから不審者情報がたくさん来る。	1
		安全に問題のある子宮頸がんワクチンに予算を費やさずに、子どもの教育環境充実に予算を。	1
	投資優先度・まちづくりなど	国の施策として日本中、空調・給食とも公平な環境を。自治体によって子どもの教育環境に差があるのはおかしい。国の制度にもっと目を向けていくべき。	1
		義務教育は基本的人権の一部である。地方自治体で差があるのはおかしい。国の政策として空調も給食も進めるべき。	1
		必要性の低い道路づくりよりも、優先的な物に予算をまわしていただきたい。将来をにう子ども達を大事にするために。	1
		どういう街を作るかのビジョンを市から示し、それを市民が考える場が必要では思う。世代間、家庭環境が違う中、優先順位をどのように決定づけるかが大切だ。	1
		他市は稲良、中3まで医療無料化、ゾーフ設置と教育に力を入れている。	1
母子家庭の方にはとても良い環境と聞いたことがあるが、少しそこを減らしてまわして欲しい。		1	
尼崎の取り組みをもう少しきちんと説明してほしい。みんな、給食も空調も両方しますと知らせてほしい。		1	
原資を捻出するために、扶助費も考えるべき。		1	
総計			26

※意見数は延べ数